

【MRTとオリコンサルら 三重県6町で医療MaaS実証実験】

三重県6町で医療 MaaS実証実験

MRTとオリコンサルら

MRT（東京都渋谷区、小川智也社長）は、オリエンタルコンサルタンツ、MONET Technology（千代田区、清水繁宏社長兼CEO）、大日本印刷、三重広域連携スーパージンティ推進協議会（久保行央会長）と連携し、三重県の大台町、多気町、明和町、度会町、大紀町、紀北町の6町で医療MaaS

（モビリティのサービス化）の社会実装を視野に入れた新たな実証実験を2024年1月末まで行う。

内閣部・総務省・経済産業省・国土交通省が連携して選定する2023年度スマートシティ関連事業のうち、経済産業省「無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業（地域新MaaS創出推進事業）」の実証事業をMRTが受託して実施する。

同様の枠組みで21、22年度に実施したオンデマンド医療MaaSの実証実験を踏まえ、今回は「医療MaaSの省人化・効率化」と「車両を活用した中山間地での地域拠点形成」による公共交通の負担軽減や地域のにぎわいなどに新たな効果が見いだせるかを検証する。

具体的には、大台町や近隣地域をフィールドに、普通車の活用や機器の高度化、医師間連携の視点で検証する。度会町をフィールドに、中山間地近くの公共施設を地域拠点とし、現状は中心市街地まで走らせている公共交通機関の代替として買い物、医療など生活に必要なサービスを集め、地域拠点までの移動をサポートすることで地域のにぎわい創造と公共交通再構築の可能性も検証する。オリエンタルコンサルタンツは実証実験の運営と事業性の検証を担う。